

令和2年（2020）2月20日

令和元年度（2019）

第5回出雲市議会(定例会)

施政方針質問通告一覧表

令和元年度（2019）第5回出雲市議会（定例会）
施政方針質問通告一覧表 目次

2月20日（木） 10:00開会			
順 番	会 派 名	議 員 氏 名	ペー ジ
1	真 誠 ク ラ ブ	伊 藤 繁 満	3～5
2	平 成 ク ラ ブ	保 科 孝 充	6、7
3	政 雲 ク ラ ブ	本 田 一 勇	8、9
4	公 明 党	福 島 孝 雄	10、11
5	市 民 ク ラ ブ	岸 道 三	12、13

質問者	19	真誠クラブ	伊藤 繁満
-----	----	-------	-------

質問事項・質問内容

(1) 令和2年度市長施政方針の I 所信 について伺います。

① 市長就任3期目の最終年度に当たり「出雲ナンバー」の普及をはじめ出雲シティセールス事業が計画されています。又、人口減少対策・人口定住に努め地方創生事業の取り組みが展開され、中海・宍道湖・大山圏域では中心都市として引き続き「日本海側の発展をリードする元気な地方都市」を創造すると述べられています。これまで「出雲」の地名を全国に情報発信し観光誘客、産業振興、企業誘致等において一定の効果が表れているものと思うが持続可能な市政運営については多くの分野において課題があります。「進取果敢」に取り組まれた今年度の経緯を踏まえ、改めて、市長就任12年目の考えを伺います。

(2) 令和2年度市長施政方針の II 市政運営のポイント について伺います。

- ① ポイント1「多様な雇用の場の創出と人材の確保」
- ア 積極的な企業誘致活動と地場中小企業・小規模企業の支援による雇用創出や、農業地域における担い手、法人、集落営農組合等による6次産業化における新たな雇用の場の創設が有効であると考えますが所見を伺います。特に外国人雇用の問題と併せて伺います。
 - イ 企業側と連携した教育・研究機関を創設する考えはないか伺います。
 - ウ 働く人の確保、人材の確保はU I ターンでは雇用条件等がマッチしなければならず難しい問題があるが実態を伺います。
 - エ 斐川町の西工業団地内にあるビジネスサポートセンターをグレードアップし、教育・研究施設として整備し短期間に必要な人材を技術習得等の養成機関として設置する考えはないか伺います。
- ② ポイント2「多文化共生社会の実現」
- ア 「多文化共生推進プラン」の推進によりどこに住んでも安心できる共生社会の実現を目指すとされています。実態の中から重点として取り組むことは何か伺います。
- ③ ポイント3「魅力ある交流のまち出雲の実現」
- ア 出雲の魅力づくりとして島根県が美肌県をPRしています。全国に誇る日本三美人の湯として名高い「湯の川温泉郷」が斐川町にあります。島根県と出雲市及び該当する会社で連携した取り組みを推進する考えはないか伺います。
 - イ 交通網の整備は喫緊の課題であります。新幹線の空白県は日本海側の一部となっています。若者が定住し、又、一度出た若者がすぐにでも帰ってくる街となるよう一層積極的な取り組み推進と経済基盤の根幹的施設である山陰道4車線化、国道9号のボトルネックの解消、更に、空路のチャーター便誘致はインバウンド対策として有効であります。中海・宍道湖・大山圏域で積極的にリードすべきと考えますが所見を伺います。

④ ポイント4「安心して住み続けられる出雲の実現」

- ア 防災・減災・縮災の強化は地球の温暖化等による異常気象下においては極めて重要であります。道路、河川、上下水道施設であるライフライン、中山間地域における土砂災害防止等、日常の点検活動強化に向けた取り組みについて伺います。
- イ 自治会の加入率低下が続いていますが、地域コミュニティの活性化は都市部、農村部にかかわらず快適な居住生活を営む上で基本的なことであり、コミセンの役割は大きいものがあります。コミセンに対する支援の在り方を従前主義的な発想をかえて若者が集うコミセンにつくりかえることも検討すべきではないか伺います。
- ウ 子育て環境の充実については、いつの時代でも問われ続けられなくてはならないことであり、地域、社会全体で支えあう、これこそが次世代に向けた持続可能な市政運営の柱ではないかと考えますが所見を伺います。

(3) 令和2年度市長施政方針の Ⅲ 主要施策・主要事業 について伺います。

① 3 交流人口1,200万人プロジェクト

ア 観光誘客・交流

- a 島根半島・宍道湖中海ジオパークは本年10月に松江市と共同で「第11回日本ジオパーク全国大会」を開くこととなり、本ジオパークの魅力を国内外に発信される計画ですがその規模と対応について伺います。
- b 人材育成について
学校教育、生涯学習の場において積極的に進めようとしているジオパーク学習の内容について伺います。

② 4 住みやすさNo.1プロジェクト

ア 安全・安心

- a 子育て支援と健康、福祉の増進について、子ども医療費助成制度の拡充はどのようなタイムスケジュールで行うのか、併せてこれまで行ってきた経緯の中で課題と問題点があれば伺います。
- b 待機児童の問題について潜在的な人数は把握されていると考えますが、働きたいけどやむなく家庭に居る人もあり、働く人材確保の面から対応策はあるか伺います。
- c 近年高齢者の死亡者が増加している傾向にありますが、健康づくりの推進について地域の健康づくりの支援を重点化して健康寿命の推進に努めるべきと考えますが所見を伺います。

イ 人材育成

- a 不登校・いじめ等への対策や特別支援教育については、きめ細かな支援が行われ児童生徒の人間関係づくりや自尊感情の育成を目的とした取り組みが拡大されることになっています。近年の状況を見るといじめの件数は増加し低年齢化していますが、児童生徒に個々に向き合う体制はどのようにとられているのか伺います。

(4) 令和2年度市長施政方針の IV 行財政改革 について伺います。

- ① 行財政改革の推進は不断の努力として推進しなければなりません。東京の町田市や葛飾区をはじめ定型的な事務処理等は自動化され先駆的に取り組まれています。事務改善、業務効率化を図り市民サービスの向上につなげていくことが重要であり同時に働き方改革につなげていくことにもなります。前例主義に呼応することなく市長自ら先頭に立って対処すべきと考えています。所見を伺います。
- ② 複雑化する行政需要に対する複雑化する法律事案、情報公開条例案については、専門的知見を要する問題は別として情報公開すべきところ、行われていなかったというケースはないか今一度点検と議論を深めることが大切ではないかと考えます。今一度吟味しておく必要があるが所見を伺います。

(5) 令和2年度市長施政方針の V 当初予算 について伺います。

- ① 当初予算の総額は対前年比6.7%増の841億6千万円ですが、内容を見ますと一時的には債務が嵩みますが償還原資は確保されていることもあり、特に財政の硬直化を招くものではなく、むしろ地域経済活性化からすれば投資的経費（特に幹線市道整備10ヵ年計画外関係）を増額してもよかったのではないかと考えますが所見を伺います。
- ② 都市計画税は令和2年度予算額1億49百万円で都市計画事業全体の充当割合が2.9%となっています。下水道事業の早期完了、街路事業に一定のめどをつけて都市計画税の見直しを検討される考えはないか所見を伺います。
- ③ 会計年度任用職員制度導入により人件費（約8億5千万円増額）を含めた義務的経費（全体予算の内、横成比48.1%）が増額されています。条例制定時は約3億円増額の説明でありました。従前は物件費にあったものが人件費に変わったというだけではないように考えますが職員数を含めてその内容について伺います。
- ④ 保育所運営費等の関係、児童手当費、子ども医療費助成事業等の扶助費関係費は年々増額され令和2年度が約180億円（昨年比約5億6千万円増）、率にして21.4%を占めるに至りました。社会保障関係費に対する考え方について伺います。

(6) 令和2年度市長施政方針の VI 結び について伺います。

- ① Society 5.0の実現を目指し力強く前進する構えを打ち出されたことを評価いたします。人口減少社会を迎え自治体においては、AI・RPAを取り入れた業務推進が重要となってきています。各職場・職員に時代の要請を浸透させスマート自治体を構築し市民サービスを向上させ持続可能な市政運営に全力を傾注することが求められています。「デジタルファースト宣言」を行うと述べられています。実効ある宣言となるよう改めて所見を伺います。

質問者	20 平成クラブ 保科 孝充
-----	----------------

質問事項・質問内容

(1) 令和新時代に輝き続ける「出雲」を目指す施策を伺う

① 所信・市政運営について

ア 定住人口17万人台キープを目標に、地方創生、人口減少問題に引き続き立ち向かうと力強く宣言されており、今後の施策実行に期待します。「日本海側の発展をリードする元気な地方都市を創造する」ともされていますが、令和の新時代に輝き続ける「出雲」へ向けての施策を伺います。

- a 多様な雇用の場の創出と人材確保
深刻な労働力不足の中で、特に中小企業への支援策を伺う。
- b 魅力ある交流のまち出雲の実現
出雲を紹介する心に残る、インパクトのある、キャッチフレーズはどのようなものがあるのか。
- c 安心して住み続けられる出雲の実現
大雨等自然災害に対応する避難所の安全確保を伺う。指定された現在の避難所は、最近の豪雨災害に耐えられる場所か。

② 雇用創出2,500人プロジェクトについて

ア 商工業について

- a 新工業団地の整備については、企業進出後の交通渋滞対策が必要です。現在の工業団地周辺の道路整備と併せて、考えを伺う。
- b 地元企業の事業拡張を含め、製造業、IT産業、事務センターの立地を図り、優れた技術サービスを有する企業の誘致強化をするとされている。立地場所、IT産業誘致等の見通しはいかがか伺う。

イ 農林業について

- a 米の消費量が年々減少する中で、今後、米に替わる作物生産への転換も必要ではないのか。農業団体との協調した取り組みはいかがか。
- b 新出雲農業チャレンジ事業における中山間地域農業の取り組みについて伺う。
- c 時代に対応したスマート農業を進めるうえで、大学・農業大学校・農林高校等に関係学部を設置を働きかける等、産学官の連携が必要と思いがいかか。

③ 定住人口キープ17万人プロジェクトについて

ア コミュニティ

高齢者時代を迎えて、自治会の加入促進については、該当者は各種役員から外す、会費等を減額する等に配慮し、市は指導すべき時期ではないのか伺う。

イ 空き家対策について

出雲市全体約2,200件もある空き家対策・活用は喫緊の課題である。行政センター単位の相談会に加えて、空き家バンクの利活用を仲介するともいえる不動産業者等との連携も必要と考える。情報提供する必要もあると思いがいかか伺う。

- ④ 交流人口1, 200万人プロジェクトについて
- ア 観光誘客・交流について
- a 出雲大社には、正月3日間に約75万人の参拝客で賑わった。駐車場の不足は今後どう解消するか。
 - b 出雲大社以外への観光地・神社等への周遊の具体的施策はいかがか。
 - c 交通ネットワークについて
国道9号・出雲バイパスについて、全線4車線の早期事業化に向けた島根県あるいは松江国道事務所との連携、今後の計画を伺う。
- ⑤ 住みやすさNo.1プロジェクトについて
- ア 安心安全について
- a 待機児童ゼロを目指す保育所（園）の定員増加についての具体策と現時点での応募状況
 - b 健康診断・がん検診の受診率とその向上策
- イ 人材育成について
日本語指導が必要な児童生徒への現在の対応状況と今後の計画について伺う。
- ウ 環境について
新年度に「朱鷺のまち推進室」が設置されるが具体的な業務と今後の予定。今後の名称はトキか朱鷺か。
- ⑥ 行財政改革・令和2年度予算について
- ア 特定任期付職員と会計年度任用職員について
- a 特定任期付職員の採用人員と雇用期間、役職
 - b 現在の臨時職員を会計年度任用職員に採用する割合
- イ 一般会計は前年度に比較すると52.9億円6.7%の増加である。投資的経費においては、前年度比47.9%増加であり、積極的な予算の執行に期待します。実質公債費比率等財政に与える影響はいかがか伺う。

質問者	8 政雲クラブ 本田 一勇
-----	---------------

質問事項・質問内容

(1) 雇用創出2, 500人プロジェクト

① 商工業

- ア 他にはないような優れた技術・サービスを有する企業の誘致を強化すると示してありますが、どのような企業を想定していますか、また具体的な候補があるのか伺います。
- イ 労働力不足と言われ続けていますが、出雲市生涯現役促進協議会について内容を伺います。

② 農林水産業

- ア 新出雲農業チャレンジ事業では、中山間地域農業や、地域の課題解決に向けた提案事業などを推進しますと示してありますが、地域からどのような提案がありますか。
- イ 多面的機能支払交付金を活用して、地域の共同活動等を支援すると示してありますが、具体的には官地の草刈りなどが対象と思われます。地域からの要望も強く出ています。来年度予算は、1800万円増であり一歩前進と思います。が、少子高齢化が進み、地域に頼るのも限界があります。この問題をどのように考えているか伺います。
- ウ 野生鳥獣対策で捕獲を重点に取り組むと示されていますが、捕獲後はどうなりますか。
例えば、多伎町で捕った猪・熊・猿はどうなりますか伺います。

(2) 定住人口キープ17万人プロジェクト

① ふるさと応援寄附について

- ア ふるさと応援寄附で扱うお礼の品を拡充すると示してありますが、具体的に新しい品はありますか。また富士通ノートパソコンは、お礼の品に入っていますか伺います。

② 多文化共生社会について

- ア 外国にルーツのある子供たちが、多様な進路選択ができるように関係機関と連携して取り組むと示してありますが、具体的にどんな関係機関でしょうか伺います。
- イ 外国人の子供で学校へ通っていない子がいると聞きますがどのくらいいるか、また原因が分かれば伺います。

(3) 交流人口1, 200万人プロジェクト

① 観光誘客・交流について

- ア 出雲大社周辺のお客さんが、他のエリアにも行きたくなる施策とは、具体的にどんなものですか伺います。
- イ また出雲市駅から大社行バスのお客数にバラツキがあるが平準化できないか伺います。

② いりすの丘公園について

ア 市全域の活性化につながるような活用策を検討すると示してありますが具体的に、何か秘策はありますか。広く市民に提案を呼びかけませんか、また担当職員だけでなく、他の部局にも提案を求めますか伺います。

(4) 住みやすさNo.1プロジェクト

① 安心・安全について

ア 昨年は大変な災害が日本中で発生しましたが、出雲市として昨年とは違う、安全安心な対策を計画していますか伺います。

② 子ども医療費助成制度の拡充について

ア 子供を持つ家庭については朗報です。具体的にどの範囲をどのように拡充するのか伺います。また財政負担が課題ですが、どのようにして捻出するのか伺います。

③ 感染症対策について

ア 4月からおたふく風邪の予防接種費用の助成が始まるが対象範囲はどうか、一人いくら助成してもらえるか伺います。

④ 国民健康保険について

ア クラウド型の全国共通システムとは、どんなものか伺います。また効率化と経費節減は可能なものか伺います。

⑤ 学校給食について

ア 給食費の公会計化とは具体的にどんなものか伺います。

(5) 行財政改革

① 弁護士・特定任期付職員について

ア どの部局で複雑な法律問題が、どの程度発生しているか伺います。また法務担当職員では対応できないのか伺います。

② デジタルファースト宣言とは

ア デジタルファースト宣言とは何か伺います。
その前にアナログな業務改善提案制度の実施があると思いますが、いかがですか。

質問者	15 公明党 福島 孝雄
-----	--------------

質問事項・質問内容

(1) 「雇用創出2, 500人プロジェクト」について

① 「商工業」

- ア 出雲ブランド商品売り込むためのデジタルマーケティング活用具体策及び、戦略を伺う。
- イ 商店街の再生・活性化における空き店舗活用に向けた課題と対策を伺う。
- ウ 新工業団地整備のスケジュールと周辺環境整備について将来構想を伺う。

② 「農林水産業」

- ア 令和2年度から島根県として米の「生産数量の目安」を提示しない方針を示したことによる、生産調整への取り組みについて、行政及び、地域再生協議会の今後の考えを伺う。
- イ 米以外の水田園芸作物転換に向けて課題となる圃場環境・労力・収益アップの展望を伺う。
- ウ 売れるものづくりのための、市場調査と新たな農産物の生産にむけた市の考えを伺う。
- エ 「出雲農業未来の懸け橋事業」「新出雲農業チャレンジ事業」に対する農家からの要望と対策を伺う。
- オ スマート農業の実証事業内容及び、検証から将来展望のプランを伺う。
- カ 「人・農地プラン」の検証及び、農地集積拡大にむけての具体策を伺う。
- キ 循環型林業その他、森林整備推進のための「森林環境譲与税」の出雲市への交付金と活用内容を伺う。
- ク 有害鳥獣対策にむけて地域全体で取り組むモデル事業を行う考えは無いのか伺う。(農地と里山の連携)

(2) 「定住人口キープ17万人プロジェクト」について

① コミュニティ活動の推進について伺う。

- ア 自治協会等が行う地域課題解決のための支援に対する行政の具体的支援を伺う。
- イ 将来の地域を支える若者の意見を取り上げる環境づくりの考えを伺う。
- ウ 地域が行う集落の維持へのサポートについて具体策を伺う。
 - a 高齢化により困難となった官地の除草対策。
 - b 防草シートの効果と今後の取り組みの考え。
 - c 近年増加の空き家周辺の環境の悪化対策。
 - d 通学路及び、生活道路周辺の危険木の除去対策。(私有林と公有林)

(3) 「交流人口1, 200万人プロジェクト」について

- ① 観光誘客の取り組み
 - ア デジタルマーケティング業務委託の選考プロセスについて伺う。
- ② 「出雲いりすの丘公園」について伺う。
 - ア 出雲いりすの丘公園再生に向けて、市全域の活性化につながる活用策の基本理念を伺う。
 - イ 地元の意見・要望の取扱いについて伺う。

(4) 「住みやすさNo.1プロジェクト」について

- ① 「安心・安全」について伺う。
 - ア 災害時の対策拠点となる市役所本庁舎の電源対策及び、避難所の確保について伺う。
 - イ 高齢者運転免許自主返納支援策について、返納された方からの意見・要望があるのか伺う。
 - ウ 斐川地域での消防団再編に伴う施設の改修について伺う。
 - エ 「新たな子ども医療費助成制度」について拡充に向けた検討内容を伺う。
 - オ 幼稚園・保育所の園外活動の安全確保のための、厚労省より、新たに「キッズゾーン」設置要望が各自治体に出されたことによる、出雲市の取り組みを伺う。
- ② 健康づくりの推進について伺う。
 - ア 人生100年時代を迎え、社会保障費抑制のためにも健康寿命を延ばす対策の強化が必要である。
 - 特に趣味や友人が増える「通いの場」の充実にむけての対策を伺う。
- ③ 人材育成について伺う。
 - ア 社会教育計画の目的と実効性を伺う。

質問者	10 市民クラブ 岸 道三
-----	---------------

質問事項・質問内容

(1) 「雇用創出2,500人プロジェクト」について

- ① 小規模事業者への支援について
 - ア 目的と事業内容
- ② 女性の創業支援の強化について
 - ア 特に女性創業者を支援する目的と期待される効果
- ③ 中山間地域農業への支援策について
 - ア 中山間地域農業の課題
 - イ 事業実績と効果
- ④ 「新たな森林管理システム」について
 - ア 現在の進ちよく状況
 - イ システム構築に向けた今後の課題

(2) 「定住人口キープ17万人プロジェクト」について

- ① 「わくわく出雲生活実現支援事業」について
 - ア 事業実績と課題
- ② 公共交通ネットワークの整備について
 - ア 公共交通ネットワークの整備に向けた考え
 - イ 交通ICカード導入への検討状況

(3) 「交流人口1,200万人プロジェクト」について

- ① 山陰道の早期完成および周辺道路の整備について
 - ア 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路における現在の進ちよく状況
 - イ 出雲バイパスおよび都市計画道路神戸橋神西沖線の4車線化に向けた状況

(4) 「住みやすさNo.1プロジェクト」について

- ① 中学生に対する消費者啓発について
 - ア 具体的な啓発活動の取り組み
- ② 新体育館の建設について
 - ア 新体育館建設に係るこれまでの進め方をどう評価しているか
 - イ アドバイザーとの条件整備の進め方

(5) 「Ⅳ 行財政改革」について

- ① 特定任期付職員の採用について
 - ア 法律事案および情報公開請求事案件数の推移
 - イ 所属先および業務内容

(6) 「Ⅴ 令和2年度当初予算」について

- ① 令和2年度一般会計予算について
 - ア 令和2年度一般会計予算増大の要因
 - イ 今後の財政計画に及ぼす影響と4つの目標達成について